

有間野地区総合防災計画書



令和8年3月
有間野区住民自治協議会（第3版）

計画策定の経緯

有間野地区では、平成29年度上砂災害防止法にもとづく基礎調査が実施され、急傾斜地を中心に、土砂災害警戒、特別警戒区域の指定がなされました。

また、近年の気候変動により大雨、台風が多発がみられるなど、水害・土砂災害から大切な家族と地域を守る、防災・減災の行動について防災計画を取りまとめることとなりました。

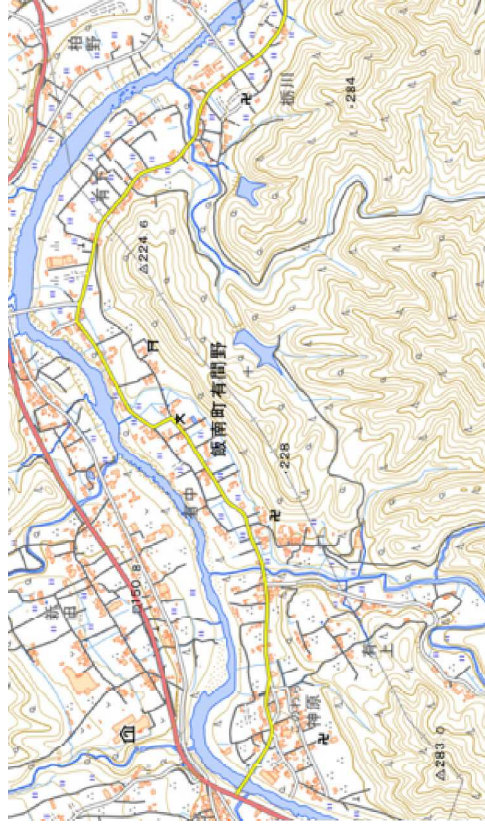
本計画書は、令和3年3月に有間野地区防災計画（風水害編）初版が発行され、令和6年3月に一部変更をかけた第2版が発行されましたが、さらに各自治会の実態に沿った防災計画とされるべき、風水害と地震災害への対応となるべく第3版として取りまとめました。

新たに更新された内容は、各自治会の中での避難経路、緊急連絡網、要介護支援者の避難方法などで、より身近な避難行動マニュアルとなるべく刷新いたしました。

なお、防災計画書は完成して安心できるものではなく、年々予測のつかない自然災害の発生に対して、常に対処法を改善していくものと考えておりますので、今後にも必要に応じて改変されるべきものとなります。

1. 計画の対象範囲

「神原・有上・有中・有下・枋川」の五つの自治会からなる居住地を対象範囲とする



2. 計画の目的

【災害時の人的災害ゼロ】を実現するため、以下のとおり基本方針（目的）を定める

**家庭・地域の防災・減災力を高め、
「災害時の人的災害ゼロ」を目指す避難行動を！**

3. 活動の目標

目的を実現するための活動目標は、以下のとおり

雨を、危険を、情報を、避難の方法を、知ろう！

■ 防災意識の向上と防災・減災力の強化

- ・家庭で災害時の対応（防災情報入手、家庭の役割、安全な場所、集合・避難場所、経路の確認）について話し合いを行う。
- ・訓練で「チェックリスト」を配布、家庭で「非常持ち出し袋」「非常食（備蓄品）」の備えを行う。

■ 風水害（土砂災害等）の発生にそなえ防災・減災 点検活動の実施

- ・防災組織（自治会）で避難経路の安全確認を行う。
- ・ハザードマップ等で土砂災害、浸水等の災害危険箇所の確認を行う。
- ・風水害の備え、誰もが「土のうづくり、積み込み」ができるように訓練を行う。

■ ご近所での日頃の声かけ、助け合いの実施

- ・「マイ・タイムライン」を作成し、個人、家庭、地域、地域の防災組織（自治会・自主防災隊・消防団など）の行動計画を定める。
- ・自主防災隊は避難情報に基づき、災害時要支援対象者の安否確認を行う。
- ・住民自治協議会では「緊急連絡網」に基づき、防災情報、安否確認を集約、把握する。

4. 有間野地区の特性（地理、人口）

有間野地区の地理や人口などの特性は、以下のとおり

■ 有間野地区の地理

国道166号線沿いに櫛田川が流れ、南北を山に囲まれ、櫛田川に沿って田畑が、そして5つの自治会が東西に存在している。

神原組自治会：全戸が平地に点在しており、若年層も多く近隣の連携が確保しやすい

有上組自治会：谷地、台地、平地と3班の地形が異なり、班内の結束力が重要

有中組自治会：有間野地区の中核を成し最も世帯数が多く、人材も豊富

有下組自治会：近年の人口減少で活性力が低減化、回復のきっかけが必要

枋川組自治会：最も人口が少なく高齢化が進み、孤立化の傾向が感じられる

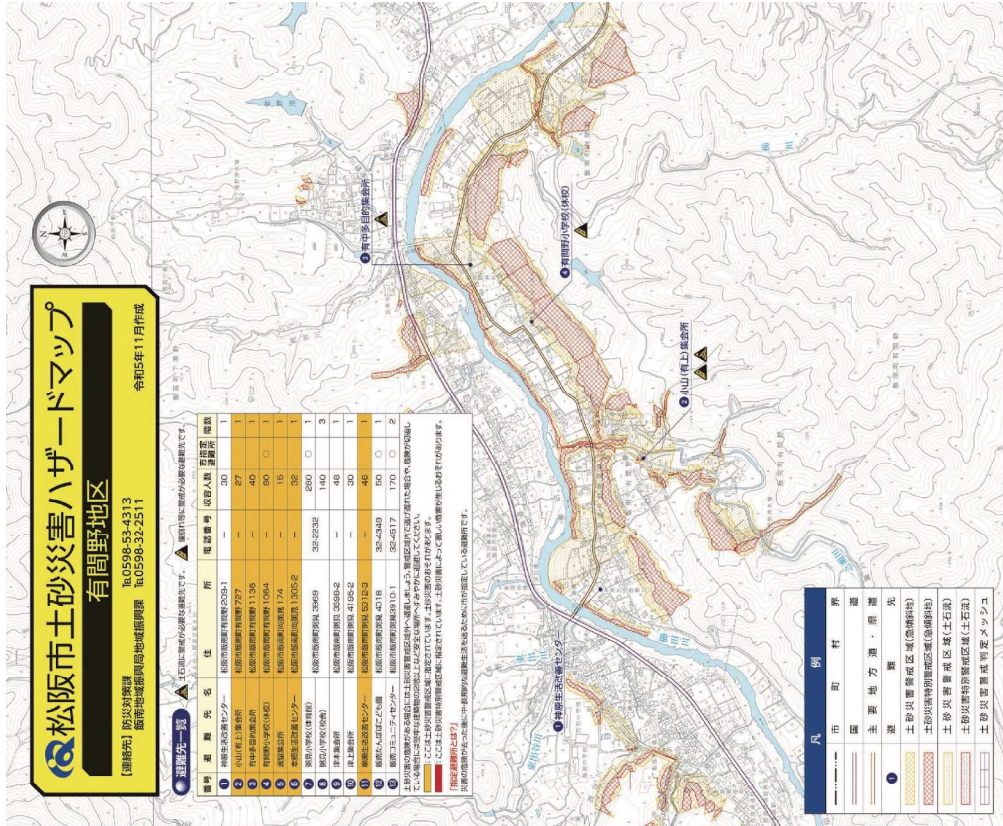
■ 有間野地区の人口（令和8年3月1日現在）

【有間野地区全体】	109世帯	237人	（令和2年4月1日時点：165世帯320人）
【神原組自治会】	22世帯	59人	（3班編成）
【有上組自治会】	20世帯	33人	（3班編成）
【有中組自治会】	30世帯	72人	（4班編成）
【有下組自治会】	20世帯	44人	（2班編成）
【枋川組自治会】	17世帯	29人	（3班編成）

※ 令和2年から令和8年にかけて、世帯数は56世帯減少、人口は83名減少

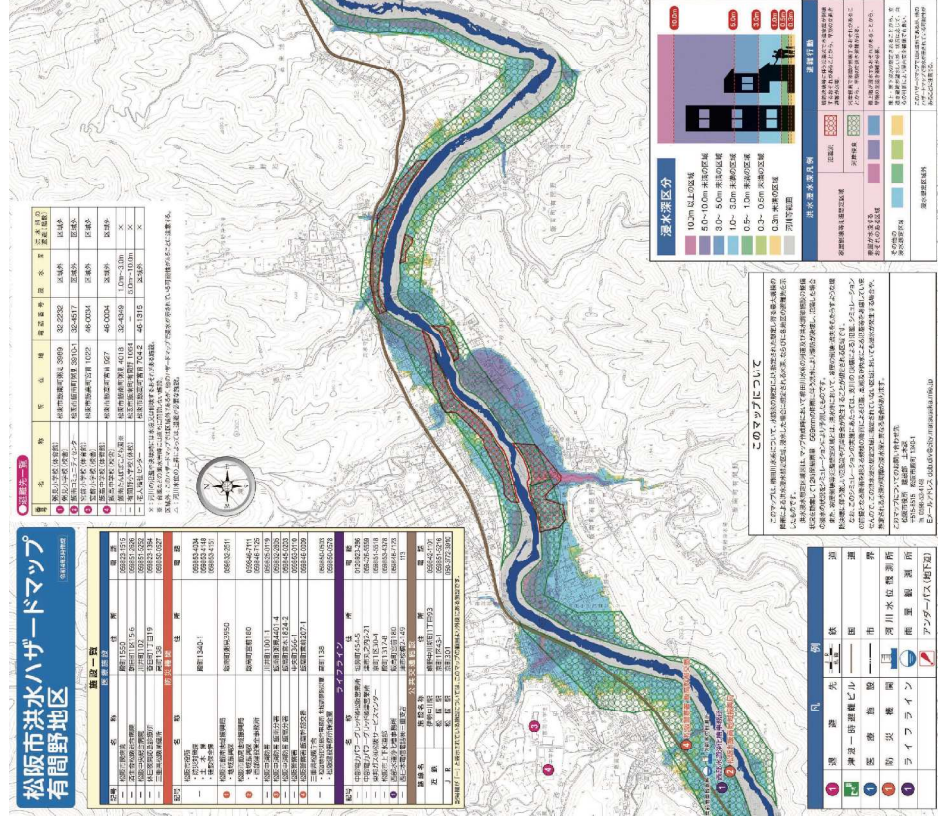
5. 有間野地区で想定される災害（土砂災害）

有間野地区で想定される土砂災害箇所は、以下のとおり



6. 有間野地区で想定される災害（洪水災害）

有間野地区で想定される洪水災害箇所は、以下のとおり



7. ふだんからの災害への備え

■個人・家族で行う備え

- ・防災気象情報の入手、雨の降り方、河川の増水、危険斜面の情報を知る。
- ・土砂災害ハザードマップの警戒、特別警戒区域を知る。
- ・屋内安全箇所、近隣の安全箇所、指定緊急避難所を知る。
- ・住宅耐震化、家具転倒防止、非常持出常備、家族で情報共有、近所付き合ひ。

■ 各自治会で行う備え

- ・防災研修、避難訓練を実施し防災・減災意識を高める。
- ・定期的に地域見回りを実施し危険箇所を確認する。
- ・災害時要支援者の把握と安否確認、支援の取り決めを行う。
- ・災害発生時の情報共有と、「助け合い」による「自主防災組織」を育成する。

8. 災害が発生した時の行動

■ 発災直後の行動は・・・

- ・自分自身の、そして家族の命を守る！

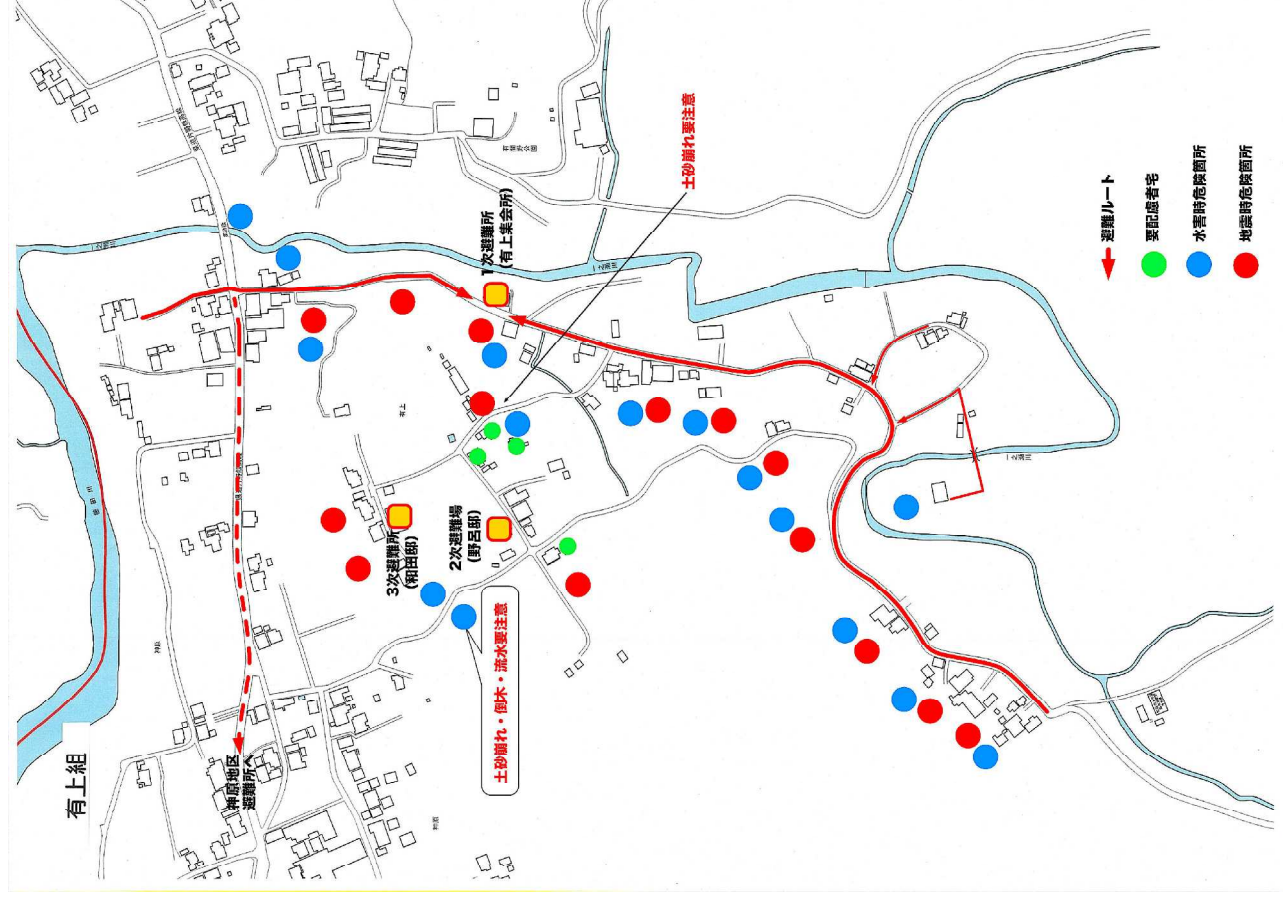
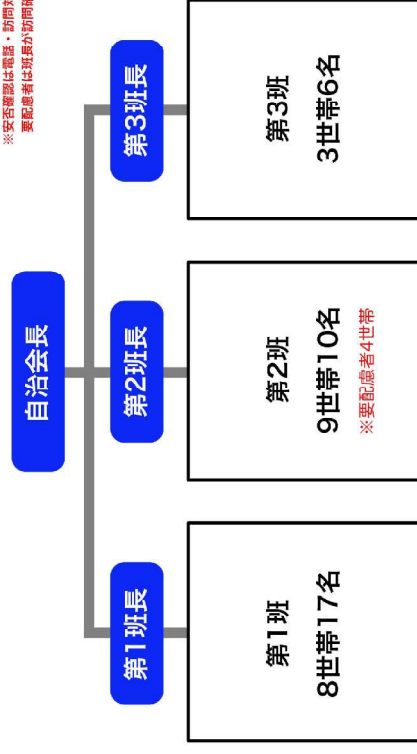
■ 発災後に個人・家族ですることは・・・

- ・家族、近所の安否確認、自宅の安全場所、地区待避所、指定避難所への避難
- 発災後に各自治会では・・・
- ・住民の安否確認、避難経路の安全確認、避難呼びかけ、避難誘導・支援
 - ・避難行動要支援者の支援、避難所の運営、快適性の確保

「マイ・タイムライン」に基づいて行動しよう！

有上組自治会：緊急連絡網（20世帯33人）

※安否確認は電話・訪問対応
要配慮者は班長が訪問確認



有中組自治会：緊急連絡網（30世帯72人）

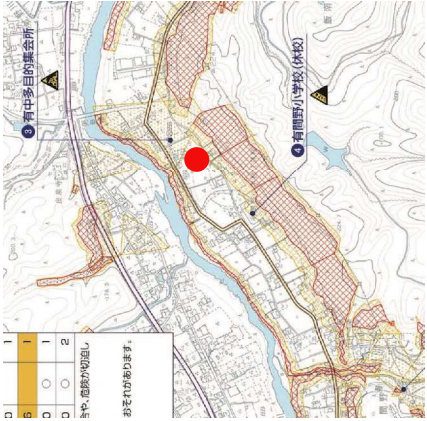
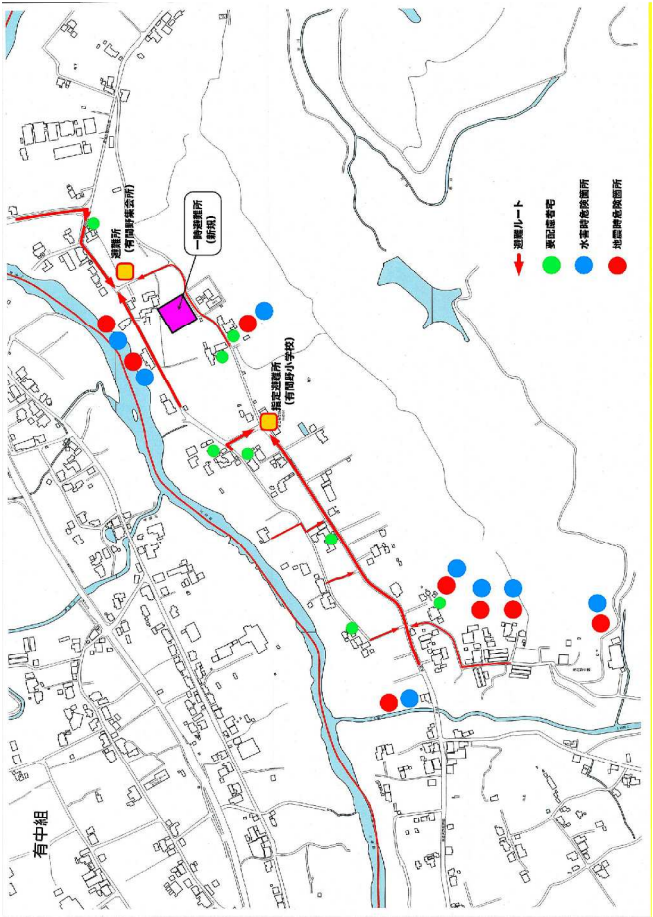


一時避難所の新規設置について

有中組自治会では、前頁に表示されているように、有間野集会所と有間野小学校が避難所として認識されています。ところが、松阪市から発表された有間野地区の洪水ハザードマップ（下図右側）を確認しますと、ほとんどの住宅をはじめ、有間野集会所も有間野小学校も浸水し、わずかに有間野神社と極楽寺から山側の高台だけということを再認識しました。

近年は、かつてないほどの量の雨が降るようになり、国の起こりうるであろう想定雨量では有間野地区の多くの家屋が浸水するという状況の中で、住民の命を守るためにも有間野神社の北側の空き地（農地）が一時的な避難場所として活用したいというご意見をいただき、新たに一時避難場所を明示しました。地権者の方々へは使用目的のご了解をいただき、一時避難場所としての活用にご期待をいただいております。

今後は、一時避難所整備の実現に向けて松阪市と調整していきます。



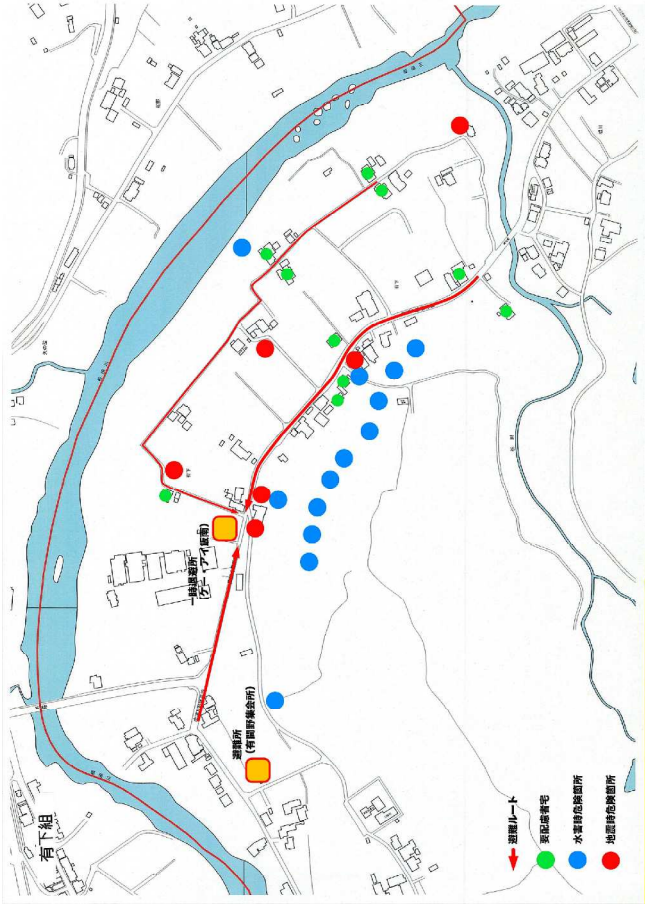
土砂災害ハザードマップ

洪水ハザードマップ

●：新規一時避難所

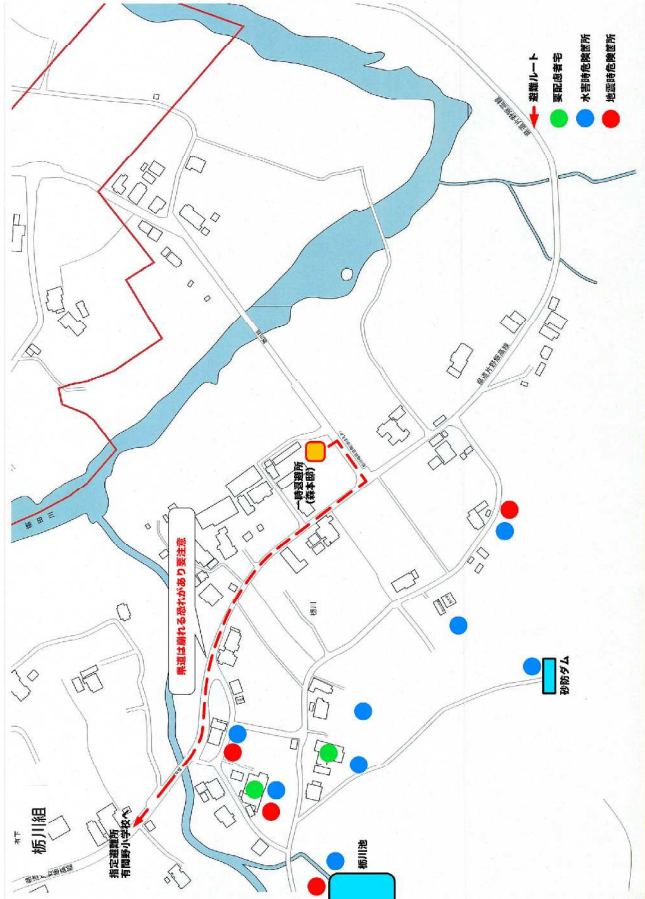
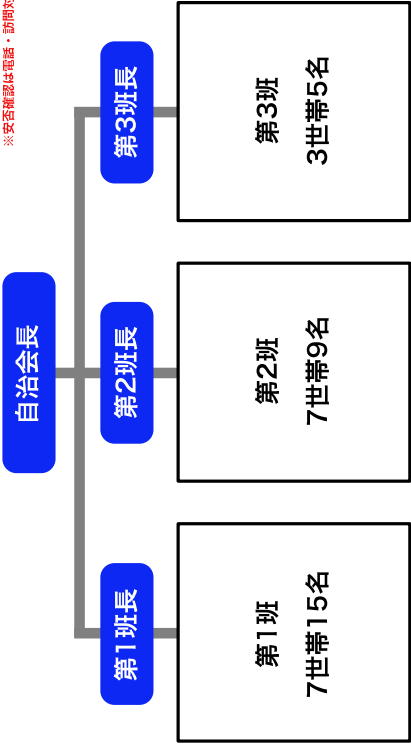
有下組自治会：緊急連絡網（20世帯44人）

※要配慮者は近隣者が電話・訪問確認



栃川組自治会：緊急連絡網（17世帯29人）

※災害確認は電話・訪問対応



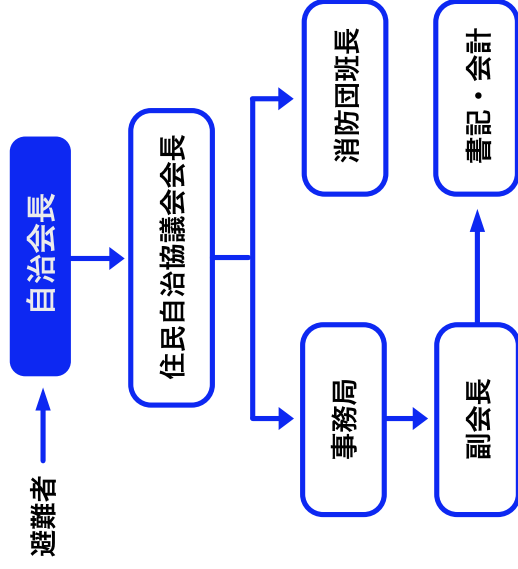
10. 避難本部の設置と連絡網

避難本部の設置と連絡網は、以下のとおり

① 避難本部の設置

→ 有間野小学校 ※設置が難しい場合は「つどいの館」

② 役員連絡網



② 役割分担

→ 本部設置時には状況に応じて役員の役割を設定する

※トランシーバーの配布方法を含む

11. 松阪市防災倉庫

令和7年度、有間野小学校に松阪市防災倉庫が設置されました



防災倉庫の鍵は地震解除ボックスの中にあり、震度5弱以上の揺れを感じると自動解除します。



松阪市防災倉庫内の資機材

- 非常食 250食
- 飲料水 2L×24本
- 避難所運営七つ道具 1セット

12. 水の確保（井戸調査）

飲むことができる井戸、使っていない井戸などは、以下のとおり

●印：飲料が可能な井戸

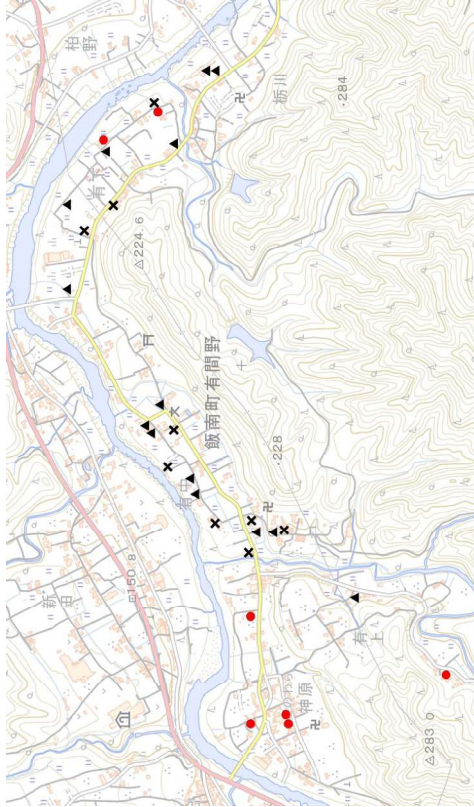
- ・神原組自治会 ① 221番地 ② 415番地 ③ 329-1番地 ④ 419番地
- ・有上組自治会 ① 653番地
- ・有下組自治会 ① 1319-1番地 ② 1251-2番地

▲印：飲料としては不適格だが、農業用水として活用

- ・有上組自治会 ① 741-2番地
- ・有中組自治会 ① 896番地 ② 917番地 ③ 946-1番地 ④ 953番地 ⑤ 968番地 ⑥ 967番地 ⑦ 981番地
- ・有下組自治会 ① 1308番地 ② 1236番地 ③ 1359番地 ④ 1366-1番地
- ・栃川組自治会 ① 1447番地 ② 1451-3番地

✖印：使っていない

- ・有中組自治会 ① 921番地 ② 925番地 ③ 993番地 ④ 888-1番地 ⑤ 941番地 ⑥ 958番地
- ・有下組自治会 ① 1374番地 ② 1164番地 ③ 1274番地



13. 防災気象情報と避難行動

下記の一覧表を理解して、マイ・タイムラインを作成しましょう！

警戒レベル	とるべき行動	避難情報	防災気象情報
5	命の危険すぐに安全確保 より安全な場所へすぐに 移動するべく命を守る行 動を！	緊急安全 確保	氾濫発生情報 大雨特別警報
警戒レベル4までに必ず避難してください！！			
4	危険な場所から全員避難 台風などにより暴風が予 想される場合は、暴風が 吹き始める前に避難を完 了しておく	避難指示	危険 土砂災害警戒情報
3	危険な場所から避難 備蓄品や防災バッグの点 検、避難先・避難のタイ ミング、気象情報・避難	高齢者や 要支援者 の避難 警戒	氾濫警戒情報 大雨警報 洪水警報
2	自らの避難行動を確認 備蓄品や防災バッグの点 検、避難先・避難のタイ ミング、気象情報・避難		注意 氾濫注意情報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報

マイ・タイムライン(地震・津波)

[illegible]

マイ・タイムライン(地震・津波)

〇〇〇家の避難行動計画 作成日：20XX年 XX月 XX日	
避難先候補1 〇〇ビル 移動時間 3分	避難先候補2 〇〇小学校 移動時間 5分
地震発生時の対応 ☒ 最大震度 5強 ☒ 最大津波 3.6mの浸水	
ペットは？ ☒ い ☐ な	
発令で危険な場所から全員避難！	
土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域	
マイ・タイムライン記入欄	
1 避難時間 地震発生から1週間が経過	在宅避難 ☐ 余震に注意 ☐ 電気・ガス・水道の状況を確認 ☐ 応急危険度判定の結果を確認
3 避難時間 地震発生後約3時間	余震に気を付けながら、避難所が自宅へ移動 ☐ 自宅の被災状況を確認（建物・電気・ガス・水道など） ☐ 周囲の状況を把握 ☐ 在宅が難しいようなら避難所へ
30分 地震発生後約30分	津波警報・大津波警報が解除されるまで避難場所に待機 ☐ 移動中はびひ割れた建物やブロック塀などに近づかない ☐ 家族の安否を確認 ☐ 周囲の状況を把握
3分 地震発生後約3分	揺れがおさまったら決めておいた避難場所へ移動 ☐ 火災・落下物に注意して外へ ☐ 外出先なら安全な場所に ☐ 自宅を離れる前にブレーカーを落としてガスの元栓を閉める
0分 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	地震速報や大津波警報等
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる
地震発生時 地震発生後2-3分	まずは自分の身を守る ☐ 低い姿勢・頭を守る・動かない ☐ あわてて外に飛び出さない ☐ 無理に火を消そうとしない ☐ 避難経路を確認 ☐ 屋外なら落下物に注意、ブロック塀などから離れる

【記入例】

マイ・タイムライン(台風・大雨)

家の避難行動計画		作成日: 年 月 日
避難先候補1	移動時間	避難に支援が必要な人(高齢者、乳幼児、妊婦など)が いない→高齢者等避難の発令で避難! いない→避難指示の発令で避難! ベットのはいり いない
避難先候補2	移動時間	
台風・大雨 自宅の災害 リスクチェック	洪水 mの浸水 高潮 mの浸水	マイ・タイムライン記入欄
気象・避難情報		
0 時 間前	【警戒レベル5】 緊急安全確保 大雨特別警戒報 氾濫発生情報	☐ 避難を続けて身の安全を確保 ☐ ラジオやインターネットなどで最新の情報を入手
3 時 間前	【警戒レベル4】 避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	☐ 避難を完了して、身の安全を確保できている ☐ テレビやラジオで最新の情報を確認 ☐ 土砂災害と洪水害の「キキクル」を確認
5 時 間前	【警戒レベル3】 高齢者等避難 大雨・洪水警戒報 氾濫警戒情報	☐ 土砂災害と洪水害の「キキクル」を確認 ☐ 「雨雲の動き」で強い雨が降っている場所を確認 ☐ 避難所の開設など自治体の情報をチェック ☐ 〇〇と〇〇くんが避難開始 ☐ 〇〇〇さんは隣の学校に連絡、必要ならお迎え ☐ 雨・風が強くなる前に避難を完了する
半 日 前	【警戒レベル2】 大雨・洪水・高潮 注意報 氾濫注意情報	☐ 「今後の雨」の雨量予測など最新の気象情報を確認 ☐ 最新の台風情報で自宅が道路のどこにあたるか確認 ☐ 避難所へ行くが在宅避難かを決めて避難準備開始 ☐ 外に出しているものをしまうなど自宅の台風対策を確認 ☐ 車のガソリンを満タンしておくなど停電対策を確認 ☐ お風呂に水を張っておくなど断水対策を確認
1 日 前		
2 日 前	【警戒レベル1】 早期注意情報 (警戒級の可能性)	☐ 最新の台風情報をチェック ☐ ハザードマップ、避難経路、避難場所の確認 ☐ 家族との連絡手段を確認 ☐ 防災バッグの点検 ☐ 自宅の備蓄(3日分~1週間分)を確認 (☐ 飲料水・食品 ☐ 生活用水 ☐ 非常用トイレ)
3 日 前		

マイ・タイムライン(台風・大雨)

家の避難行動計画		作成日: 20XX 年 XX 月 XX 日
避難先候補1	移動時間	避難に支援が必要な人(高齢者、乳幼児、妊婦など)が はいり→高年齢等避難の発令で避難! いない→避難指示の発令で避難! ベットのはいり いない
避難先候補2	移動時間	
台風・大雨 自宅の災害 リスクチェック	洪水 mの浸水 高潮 mの浸水	マイ・タイムライン記入欄
気象・避難情報		
0 時 間前	【警戒レベル5】 緊急安全確保 大雨特別警戒報 氾濫発生情報	☐ 避難を続けて身の安全を確保 ☐ ラジオやインターネットなどで最新の情報を入手
3 時 間前	【警戒レベル4】 避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	☐ 避難を完了して、身の安全を確保できている ☐ テレビやラジオで最新の情報を確認 ☐ 土砂災害と洪水害の「キキクル」を確認
5 時 間前	【警戒レベル3】 高齢者等避難 大雨・洪水警戒報 氾濫警戒情報	☐ 土砂災害と洪水害の「キキクル」を確認 ☐ 「雨雲の動き」で強い雨が降っている場所を確認 ☐ 避難所の開設など自治体の情報をチェック ☐ 〇〇と〇〇くんが避難開始 ☐ 〇〇〇さんは隣の学校に連絡、必要ならお迎え ☐ 雨・風が強くなる前に避難を完了する
半 日 前	【警戒レベル2】 大雨・洪水・高潮 注意報 氾濫注意情報	☐ 「今後の雨」の雨量予測など最新の気象情報を確認 ☐ 最新の台風情報で自宅が道路のどこにあたるか確認 ☐ 避難所へ行くが在宅避難かを決めて避難準備開始 ☐ 外に出しているものをしまうなど自宅の台風対策を確認 ☐ 車のガソリンを満タンしておくなど停電対策を確認 ☐ お風呂に水を張っておくなど断水対策を確認
1 日 前		
2 日 前	【警戒レベル1】 早期注意情報 (警戒級の可能性)	☐ 最新の台風情報をチェック ☐ ハザードマップ、避難経路、避難場所の確認 ☐ 家族との連絡手段を確認 ☐ 防災バッグの点検 ☐ 自宅の備蓄(3日分~1週間分)を確認 (☐ 飲料水・食品 ☐ 生活用水 ☐ 非常用トイレ)
3 日 前		



じぶんのこと



名前（ふりがな）

生年月日

ねん

がつ

にち

性別

住所

電話番号

学校

アレルギー

薬

特別なケアが必要な
場合の配慮について



家族の名前・連絡先

連絡先

名前（ふりがな）

連絡先

()
()
()
()

14. 課題・問題点・今度の活動

想定外の災害がいつ、どこで発生してもおかしくない時代となりました。普段の近所付き合いが、いざという時に大きな助けとなります。今後は、ますます自主防災組織の役割と活動の実践が求められます。

- 1) 非常持出袋の配備、家具等の転倒防止措置など身の回りの整備
- 2) 住民各自のタイムラインの作成と避難所運営の訓練
- 3) 広域避難の理解

初版発行

令和3年3月

第2版発行

令和6年3月

第3版発行

令和8年3月

(追加変更：各自治会の危険箇所と避難ルート、緊急連絡網)